

【重要】海外渡航状況調査及び帰国後の自宅待機等について

新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大しています。

日本においては、渡航者が海外で感染し、帰国後に発症する事例が増えています。本学は保健医療福祉系の大学であることから、できる限り万全の体制で臨む必要があります。

そこで、海外渡航に関して、以下のとおり調査及び帰国後の自宅待機等の要請を行いますので御協力をお願いします。

この措置は、感染拡大を防止するための措置として、国の対応に加え、本学独自の判断により実施するものです。

1 海外渡航状況調査について

【調査対象】

- ・全学生及び新入生（現4年次生を除く）

【調査項目】

- ・海外渡航の有無（2020年2月以降）
- ・渡航先国名
- ・渡航期間

※留学、旅行などの目的にかかわらず、すべての海外渡航について回答してください。

（渡航前に事務局に御連絡いただいた方も、改めて回答をお願いします。）

【調査方法】

- ・次の URL から WebClass にログインして必要事項を入力してください。
- ・同居の御家族についても、回答欄を設けておりますので、御協力いただける場合は回答をお願いします。

【回答期限】

2020年3月26日（木）

2 帰国後2週間の自宅待機について

海外渡航していた方は、帰国後2週間の自宅待機をお願いします。

2週間の自宅待機期間中に大学でのガイダンスや授業があっても絶対に大学には来ないでください。

体調に変化があった場合には、埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター（TEL0570-783-770（24時間受付））に相談の上、医療機関を受診してください。

なお、帰国後、自宅待機したことにより授業等で不利益を被ることがないように、最大限の配慮を行います。

3 新たな海外渡航の自粛について

渡航先の感染症危険レベルにかかわらず、渡航を中止するよう御協力ください。